

「雲南省都市部における民族語使用状況 少数民族出身大学生の予備調査に基づいて」『言語と文化論集 / 第12号』神奈川大学大学院外国語学研究科、149-166、2005年12月

《研究ノート》「中国における言語評価 浙江省の大学生を例にして」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化 / 第4号』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、193-202、2007年3月

「日本人学生の言語評価 神奈川大学で行った予備調査に基づいて」『言語と文化論集 / 第14号』神奈川大学大学院外国語学研究科、51-74、2008年2月

「北京における言語評価」COE成果報告書*1『非文字資料研究の可能性 若手研究者研究成果論文集』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、137-151、2008年3月

発表

「非文字と言語 北京大学生の言語イメージを通して」COE若手研究者ワークショップ*2、2008年1月

その他

《コラム》「Ethnologueから見る言語危機の拡大」『非文字資料研究 / No.9』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、27、2005年9月

劉 湯氷 (RA)

論文

「中国語色彩語の象徴化」『人文研究 / 156号』神奈川大学人文学会、145-169、2005年9月

「『詩経』から見た色彩語」『言語と文化論集 / 第12号』神奈川大学大学院外国語学研究科、121-147、2005年12月

その他

《コラム》「色彩認識の象徴化 京劇の臉譜の表すもの」『非文字資料研究 / No.14』神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議、19、2006年12月

ホームページの更新について

<http://www.himoji.jp/>

2008年3月31日の本プログラムの終了に伴い、これまでのホームページを全面的に更新いたしました。更新後のホームページは2008年4月1日以降、本事業を継承する非文字資料研究センターの管理に移行します。

リニューアルしたホームページでは、この5年間の事業の経過および成果を明らかにして、わたくしどもが作り上げてきた成果についてのご意見をいただく窓口とするとともに、この成果をさらに発展させるべき方向などについても示唆を得たいと考えております。主に以下のような内容に力点を置いてリニューアルしました。

なお、ホームページのURLには変更はありません。

1. 神奈川大学21世紀COEプログラムの終了に伴い、2008年4月1日以降、日本常民文化研究所付置非文字資料研究センターが事業を継承すること。
2. 本プログラムにおいて掲げてきた「図像資料の体系化と情報発信」、「身体技法および感性の資料化と体系化」、「環境と景観の資料化と体系化」、「地域統合情報発信」、「実験展示」、「理論総括研究」の研究課題それぞれの活動経過と成果の概要をまとめ、課題をどこまでクリアできたのかを明確にしたこと。
3. 本プログラムに関わった方々の研究成果を一覧化して、どのような研究領域の人々がともに作り上げてきた事業なのかを明らかにし、またプログラムの5年間に参画者が挙げた成果を示したこと。
4. 本プログラムにおいて収集した研究資料のデータベース、あるいは今後データの持続的な蓄積・更新が必要なデータベースをとともに公開し、広く社会的利用に供したこと。
5. 本プログラムの研究拠点として重要課題である若手研究者の育成をどのように行ってきたか、またその成果についての紹介を行ったこと。
6. 「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の課題を遂行する上で研究連携を深めた海外の研究機関との交流の実態を紹介したこと。

拡大ホームページ委員会